

|               |                                      |            |          |
|---------------|--------------------------------------|------------|----------|
| <b>提携先</b>    | (株)OSK                               | <b>記入日</b> | 2008/9/4 |
| <b>登録消費材名</b> | 乾しいたけ・われ葉しいたけ・天日干しどんこ 100g・徳用小葉乾しいたけ |            |          |

**．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

昨年椎茸産業では、暖冬と降雨不足のため、春子椎茸は全体では九分作の作柄だったが全国的な不作に加え、ポジティブリスト制度の影響で中国からの輸入量が減少し、又マスコミ等で相次ぎ発表された「中国製品の毒性物質が検出」など中国製品に対する信頼性がなくなり消費者の目は国産に向けられた。業界でも日本産物へとシフトが進み、椎茸相場が高騰した。当社の親元である大分県椎茸農協も全組織をあげて集荷運動を展開した。椎茸生産者も数年来低価格が続いていたが、ようやく明るい兆しが見えてきた。しかしながら、椎茸生産者の年齢が平均68歳に達しているため今後、生産量が大きく伸びる可能性は低いと思われる。

**．前年に努力したことへの評価(成果や課題)**

当社の親元である大分県椎茸農協は椎茸生産者と一体となり全組織を上げて、集荷量、仕込量（種駒）等、大きく伸びた。  
上記で述べているように、椎茸生産者が高齢化しているため、如何に生産量を増やすかが今後の課題である。

**．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

当社の親元である大分県椎茸農協の販売子会社として、日本一の生産量を誇る大分県産の乾しいたけを、生活クラブに安定供給をして行きたい。